

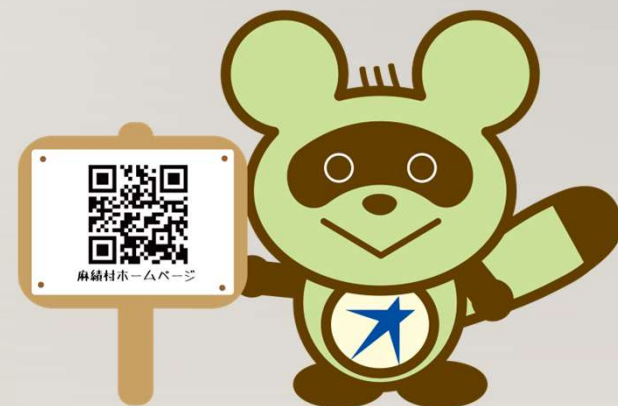
麻績村 DX推進計画

令和5年12月

第1版



麻績村



背景

社会背景

近年、私たちの生活スタイルは、パソコン、スマートフォン、タブレットなどの機器、及びインターネット環境の普及によって大きく変化してきました。

しかし、新型コロナウイルス対応の中で、デジタル化の遅れが明確になり、さまざまな課題が浮き彫りになりました。

今後少子高齢化に伴う人口減少により行政職員数の減少も予想されている中で、行政業務はますます多様化・複雑化し職員への負担が増え、更に財政的な制約も生じることが予測されます。

このような状況から、現行サービスの提供を質を落とさず継続できるかどうか懸念されます。

こうした背景を踏まえ、麻績村ではデジタル技術を活用し業務の効率化やプロセスの改善を通じて、職員の負担を軽減し、より効果的に業務を遂行し、現行サービスの継続はもちろん、更なる充実及び今後発生する課題に対応していくために「麻績村 DX推進計画」を策定し、計画を進めていくこととなりました。



基本理念

「更なる飛躍を 心ときめく 麻績村へ」

近年デジタル化が急速に進みライフスタイルや価値観の多様化など、社会・経済に大きな変革をもたらしています。麻績村としても、デジタル技術を駆使して働き方などの効率化を図り、質の高い自治体サービスを提供することにより、「来てよかった」「住んでよかった」「これからも住み続けたい」と思える村づくりを目指します。



基本方針

- デジタル技術を用い、「住民の利便性の向上」を図ります。
- デジタルを利用した「業務の効率化、それに伴う組織の変革」を行います。
- 効率化により発生した人的資源を活用し
「住民サービスの向上と、新たな行政サービスの創出」を行います。



計画の構成

第7次麻績村振興計画

- ・麻績村デジタル田園都市構造総合戦略
- ・分野別基本計画 DX重点戦略

麻績村DX推進計画

政府計画

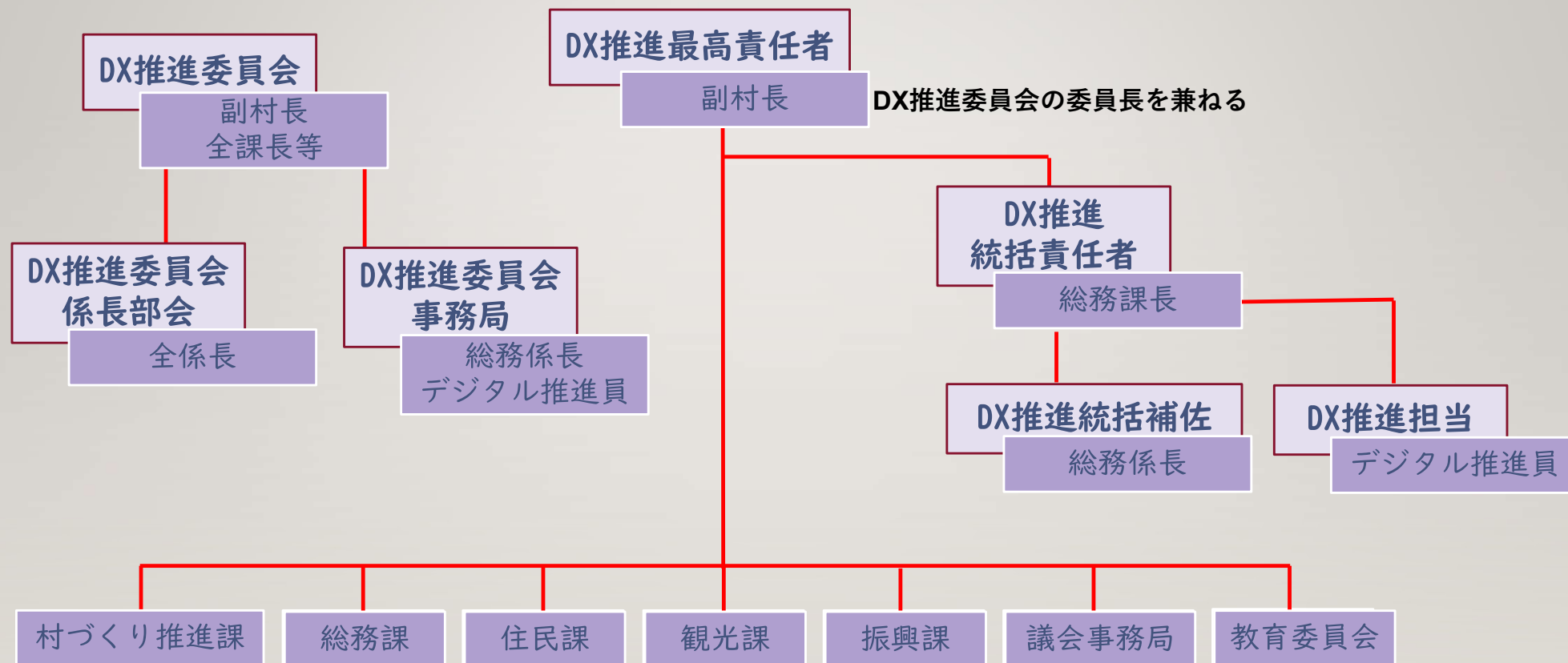
- ・世界最先端デジタル国家創造宣言・官民データ活用推進基本計画
- ・デジタル・ガバメント実行計画
- ・自治体デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画
- ・デジタル社会の実現に向けた重点計画
- ・DX推進手順書

長野県DX戦略

- ・スマートハイランド推進プログラム
- ・信州ITバレー構想



推進体制



施策内容

【住民の利便性向上】

マイナンバーカードの普及促進
キャッシュレス支払い導入
オンライン申請の導入
コンビニ交付導入
情報発信
デジタルデバイドの解消

【行政事務の見直し】

行政システムの標準化
デジタル技術の活用強化
文書管理・電子決裁導入
役場内部の情報共有
A I ・ R P A の利用検討
業務・組織の変革（B P R の取組）

【その他】

情報セキュリティ
I C T 人材育成



ロードマップ

期間 令和5年度 から 令和7年度 まで

項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度
住民の利便性向上			
マイナンバーカードの普及促進	交付申請対応、 広報活動		
キャッシュレス支払い導入	導入検討 準備	導入検討／導入準備／導入	導入後検証
オンライン申請の導入	導入検討 準備	導入検討／導入準備／導入	導入後検証
コンビニ交付導入	業者選定、契約	導入準備	導入
デジタルデバイドの解消			デジタル機器活用活動 / 公共施設Wi-Fi化
情報発信	ホームページ リニューアル	ホームページの管理 / 広報誌のデジタル化 / 生活基盤に関する情報 / スマートフォン利用の情報発信	
行政事務の見直し			
行政システムの標準化	標準仕様と現行システムとの比較分析	標準システムへの移行計画作成	標準システムへの移行
文書管理・電子決裁導入	導入検討 準備	導入検討／導入準備／導入	導入後検証
役場内部の情報共有	導入検討 準備	共有情報洗い出し	共有方法検討／ルール作成／共有準備／導入、導入後検証
AI・RPAの利用検討	対象業務洗い出し	対応方法検討／導入検討／導入準備／導入	導入後検証
業務・組織の変革（BPRの取組）		変革対象洗い出し	変革への検討／計画／準備／導入、導入後検証
その他			
情報セキュリティ		情報セキュリティ ポリシー見直し	研修
ICT人材の育成		研修受講 (各課1名程度)	研修受講（第一弾の効果を検証して実施）

